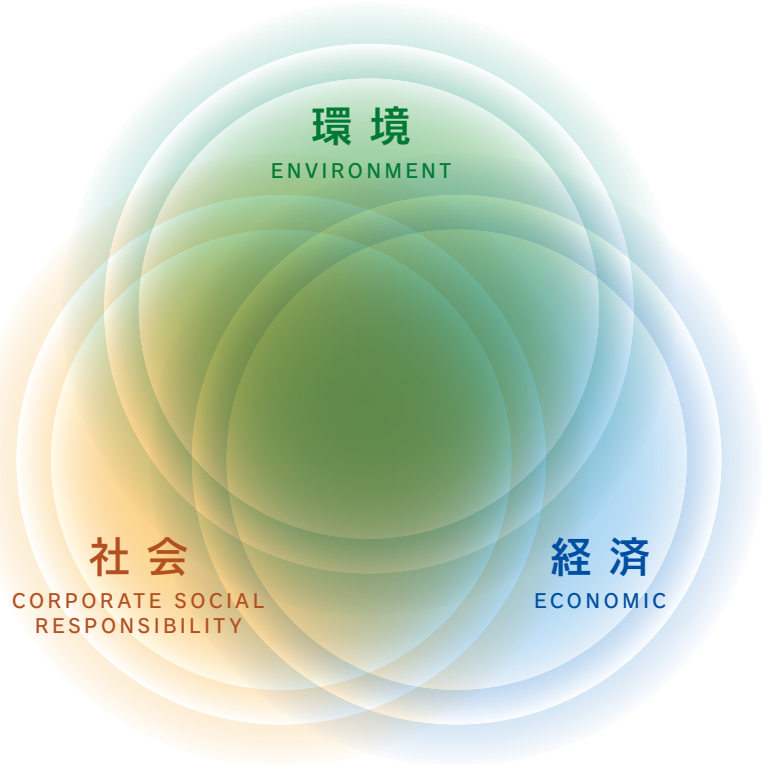


社会から愛され、成長と発展を望まれる企業となるために、 「環境」「社会」「経済」の3つの側面から企業価値向上を目指しています。

リコーグループは、「環境」「社会」「経済」を同軸で捉え、持続可能な社会の実現に貢献することを目指しています。

そして、企業活動に関する情報を、適正かつ適時に開示することで、ステークホルダーの皆様とコミュニケーションを図り、リコーグループの活動への理解と共感を得るとともに、皆様からのご意見を、さらなる経営の改善および企業価値向上に結びつけていきたいと考えています。

当報告書は、リコーグループの「環境経営」に関する情報開示を目的に発行しています。



RICOH 2010 (CORPORATE PROFILE)

<http://www.ricoh.co.jp/about/>



- ・会社概要
- ・事業内容
- ・環境経営
- ・社会的責任経営
- ・主な拠点
- ・会社の沿革

環境経営報告書 2010

<http://www.ricoh.co.jp/ecology/>



- ・環境経営の考え方
- ・製品に関する取り組み
- ・事業活動に関する取り組み
- ・環境経営の基盤
- ・環境コミュニケーション/
生物多様性保全

社会的責任経営報告書 2010

<http://www.ricoh.co.jp/csr/>



- ・CSRの考え方
- ・誠実な企業活動
- ・環境との調和
- ・人間尊重
- ・社会との調和

アニュアルレポート 2010

<http://www.ricoh.co.jp/IR/>



- ・経営方針
- ・業績報告
- ・財政状態

その他の関連する企業情報サイト

●情報セキュリティ情報 <http://www.ricoh.co.jp/about/security/>

■参考にしたガイドライン等

環境経営報告書の編集にあたり、以下のガイドラインを参考に開示項目の過不足チェックを行い、開示の充実を図っています。

- ・GRI「サステナビリティ・レポート・ガイドライン第3版(G3)」
- ・GRI「生物多様性参考文書」
- ・環境省「環境報告ガイドライン2007年版」
- ・(株)トーマツ審査評価機構「環境格付けレポート2008年版」

なお、本2010年版では、以下の各文献を参考に、事業における“環境リスクと機会”の視点を取り入れました。

- ・日本公認会計士協会「気候変動リスクに関する投資家向け開示フレームワークの現状と方向性」
- ・気候変動関連情報審議会(CDSB)報告フレームワーク公開草案
- ・SEC「気候変動関連情報開示に関する委員会解釈指針」
- ・アカウンティング・フォー・サステナビリティ「コネクテッド・レポート実践ガイド」

表紙の写真：ハイロオオカミ

別名タイリクオオカミ。北半球(ヨーロッパ、カナダ、アメリカ、アラスカ、アジア)に広く分布していたが、家畜を襲う害獣として駆除されるなど絶滅もしくは絶滅が危惧される地域が増加している。

環境経営報告書2010の編集方針

リコーグループは、環境保全と利益創出を同時に実現する「環境経営」を目指しています。当報告書は、環境経営の考え方や推進方法、活動事例、環境会計などをわかりやすく情報開示し、社会とのコミュニケーションを図るとともに、社会からの信頼を得るために発行しています。

●対象読者

リコーグループの環境経営に関する、現在および将来的なステークホルダーの方々を対象読者としました。単なる活動結果の報告に終わるのではなく、方針とその背景にある考え方や活動の進め方もあわせて紹介することで、環境保全活動の環が社会に拡がることを目指したコミュニケーションを心がけています。

●情報開示方針

グローバルな情報開示

環境問題は国境を越えた問題であり、事業や環境社会貢献活動を行う各国や地域での、地元に着目した活動が重要です。そのため本報告書では、グローバルなパートナーシップに基づく環境経営活動を報告しています。

経済的側面に関する情報開示

リコーグループでは、経営のすべての分野に「環境」の視点を取り入れて、環境経営を実現するための改善を図っています。そのため、各部門やグループ全体の活動による環境保全効果と経済効果を把握し、「環境会計」による情報開示を行っています。

各情報開示ツールの役割

環境報告には、環境経営WebサイトのHTML版と環境経営報告書PDF版があります。いずれも、リコーグループの環境保全活動を網羅的に掲載していますが、ご覧になる目的や知りたい内容によって使い分けることでより便利にご活用いただけます。

リコーグループの環境経営HTML版

情報の即時性を重視し、最新情報をタイムリーに更新しています。また、PDF版では紹介しきれない事例や活動の歴史なども紹介しています。知りたい内容や項目にすぐにアクセスができます。

環境経営報告書PDF版

年度の報告に主眼をおいて誌面を編集しており、更新も年度ごとになります。事業年度の活動を俯瞰的に把握する際に適しています。



編集方針/目次	2
世界一の環境経営を目指して	3
2009年度 環境経営の概況/リスクと機会の認識	5
社会に対するコミットメントと社会からの評価	7
環境経営の全体像/報告組織の概要/主な事業内容	8

特集/環境経営の環を拡げる①

ものづくり革新への取り組み	9
---------------	---

環境経営の考え方

私たちの目指す姿(Three Ps Balance)	13
持続可能な社会実現のためのコンセプト(コメットサークル)	15
環境綱領とノンリグレット・ポリシー	16
2050年長期環境ビジョンに基づく中長期環境負荷削減目標の設定	17
2010年度までの環境行動計画と2009年度の成果	19

環境技術開発

環境技術開発	21
--------	----

製品に関する取り組み

省エネルギー・温暖化防止	24
省資源・リサイクル	27
汚染予防	31
原材料・部品調達(仕入先)	35

事業活動に関する取り組み

生産 省エネルギー・温暖化防止	37
生産 省資源・リサイクル	41
生産 汚染予防	44
非生産(オフィス、その他)	48
販売・使用(お客様)	50
物流・輸送	53

環境経営の基盤

環境マネジメントシステム	55
環境経営評価手法	58
エコバランス(環境負荷の把握と目標設定)	61
コーポレート環境会計	63
環境コミュニケーション	65

特集/環境経営の環を拡げる②

リコーグローバルエコアクション2009	69
---------------------	----

環境教育・啓発	71
生物多様性保全	72
(事業活動との関わり)	73
(環境社会貢献)	74
(環境ボランティア活動の推進)	76
(森林生態系保全プロジェクト)	78

資料

報告期間・報告範囲	79
創業の精神・経営理念・環境報告原則	80
活動の歴史	81
ワード別INDEX	82